

皆さんへ、

今年も我々の一年の活動報告におつきあいください。

<由紀子の一年>

由紀子は、日本語教育学講座の講座主任 (Dept. Chair) の2年目です。広島大学は、昨年から2学期生から4学期制への移行、教育学研究科の組織変更、そして今年は世界的に魅力的なトップレベルの教育研究を行う大学「スーパーグローバル大学創成支援」校に指定されたため、普段の雑務に加え、本部の仕事にもかり出されているため、ずいぶん学生に気を遣わせてしまっています。

同時に、今年は海外に行くことが多く、毎回安いチケットを買っているにもかかわらず、生まれて初めて1年間でためたマイルが10万マイルを超えます。6月には、牧野先生の叙勲式に参加させて頂き、久しぶりに牧野先生ご夫妻、息子さんはもとより、米国でお世話になった筒井先生、ヤコブセン先生ご夫妻、ナジキアン先生ご夫妻、岡先生ご夫妻とお会いすることも出来ました。他にも、シドニーでの日本語教育国際大会、ロンドンのBATJ、アリゾナのSecond Language Writingの学会などで、なつかしい方々にお会いすることができました。プライベートでは、7月に甥が結婚し、かわいらしいカップルが家族の仲間入りをしました。9月の連休には、大学の同期の6人でプチ同窓会をかねて、ベトナムへ行きました。世界遺産のハロン湾の壮大さは評判異常にすてきでした、それから、スクーターがバンバン行き交う信号無しの大通りを渡るのはじめての経験で、若干命の危険は感じましたが、面白かったです。

これから年度末は、論文審査や学年末の様々な雑務に追われますが、来年1年はサバティカル研修でお休みをもらったので、今は旅行の準備をしているような感じで、毎日楽しく仕事をしています。



<一味の一年>

一味の一年は前年から東京で行っている「日本の食文化をテーマにした日本語の教科書」の執筆が継続中で何年かぶりに東京での正月の後、そのまま居続けるという形で始まりました。一味も今年はアメリカと日本の間を4往復するというに旅行が多い年になりました。まず、二月にペンシルバニア州のエリザベスタウン大学で開催された落語と紙切りの会のお手伝いで柳亭左龍さんと林家二楽さんとで三人旅をしました。(高橋君、ご苦労様でした。とてもいい会でした。)その帰りにパデュー大に寄ってもらって、初めての落語会が実現しました。お客さんが200人以上きて、こちらもとても盛況でした。(パデューでの落語会の準備は私が不在だったので、大学院生たちが奔走して頑張ってくれました。ありがとう。)5月は久しぶりに日本のゴールデンウィークを味わいました。二人で広島から、山口の秋吉台、萩、津和野、島根の水族館と回ってきました。萩での幕末の吉田松陰の影響の大きさを感じられたことが大変面白かったです。また、三度目の陸前高田も訪問しました。六月からは昨年お休みしたミドルベリーの校長に復帰しました。日本語学校もバーモントに戻り、原点回帰で、70数名の日本・日本語大好きという学生たちと濃い8週間を過ごしました。(昨年休んだことで新鮮さがありました。)日本語学校のスピリットを象徴するかのようには手作りの臼と杵で餅つきをしました。(制作担当ウェンディー、ご苦労様。)それから、著名な作詞家の覚和歌子さん(千と千尋の神隠しの作詞者)がゲストでいらっしゃっている間に日本語学校の校歌を作ってくださいという大きな

出来事がありました。落語・紙切りウィークも健在で、この活動の評価も含めて柳家さん番師匠が国際交流基金賞という大きな賞を受賞なさいました。8月には初めてロンドン観光をかねて、BATJ という学会に出席しました。（さすが、ロンドン、面白かったです。）9月からはパデューに戻り、教科書の執筆を継続しています。おかげで食文化に関する知識はかなり学びましたが、ちょっと頭でっかちになってしまっているようです。

10月に一つ悲しい出来事がありました。大学時代にバスケットを一緒にやった同級生の石原が癌との戦いの末亡くなりました。亡くなる四日前に会って、話ができただけなのは幸いでした。同世代の死は辛いものです。今年は意識的に自分の記録を残しておこうとフェイスブックを積極的に使ってきたのですが、友の死も期せずしてそこに入ってしまった。

11月のACTFL（全米外国語教師学会）では多くのパデューの卒業生達に会い、その活躍ぶりが頼もしかったです。（同時に「随分長くやっているのだなあ」と改めて感じさせられもしました。）



今年のクリスマスは二人でアンコールワットに行ってきます。世界遺産ツアー継続中、楽しみにしています。皆さんのご健康、ご多幸をお祈りします。よいお年をお迎えください。

2014年12月

一味&由紀子



ミータロー：今年の始めは毛が伸びすぎて毛玉だらけになっていたの、シカゴのメグ姉さんに頭から下の毛を刈られ、（つつつか、剃られ）しばらくライオンカット状態でした。夏は恵み姉さんと過ごして快適でした。毛をなめなくなったので、体の調子も良かったし。今は元どおりになりました。

チビタン：村松姉さんの獣医さんに背中のカイロプラクティックをしてもらってから、後ろ足は絶好調。ミータローからの情報でトイレの後にもらうご褒美の緑色のおやつが製造中止になりあと一袋でなくなるらしいと聞きました。あれがないとトイレに行く動機が失われるのだけれど、飼い主はまだ解決策を見つけていない様子。不安。

チビタン&ミータロー

頌春 2015
